



## 8月1日～15日の活動報告

### ●富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会

日時：8月3日(火) 13:30～14:10

場所：ANAクラウンプラザホテル富山

大会には新田知事、富山県選出国會議員をはじめ、当会からは金井会長、久和名誉会長が出席して開催された。

新田知事の挨拶では、「2023年度末までの確実な敦賀開業、敦賀・大阪間の2023年度当初の着工に向け、財源の確保等着工5条件が早期に解決されるよう、政府、与党に強力に働きかけたい」と述べた。

金井会長は金沢・敦賀間については、「2023年度末には必ず開業できるよう強くお願いする」と述べたうえで、開業することで生まれるビジネスチャンスにも触れた。敦賀・新大阪間については、一昨年公表した経済波及効果、国土強靱化について述べた後、「環境アセスメントを予定通り2022年度内に完了し、2023年度当初の着工を実現することが、当面の最大の課題。その上で、更に、2030年頃までの一日も早い大阪までの全線開業を求めていく必要がある。」と述べ、関西経済界との連携し取り組んでいくとした。

大会では以下について決議された。

1. 現在建設中の金沢・敦賀間について、2023年度末までの開業を確実に実現すること。その際、国による適切な監督の下、工事工程や事業費の管理を徹底するとともに、沿線の地方自治体に対し、適時・適切にかつ分かりやすく情報提供を行うこと。加えて、金沢・敦賀間の開業に向けたまちづくりや観光など様々な取組みに対し、工期遅延に伴う対策も含め、必要な支援を行うこと。また、関西・中京圏等と北陸圏との間の円滑な流動性を図るため、敦賀駅等における乗換利便性を確保するとともに、在来線特急の運行本数の維持・拡大など、関西・中京圏等とのアクセス向上を図ること。

2. 敦賀・大阪間について、「北陸新幹線の取扱いについて」で「12月15日の与党PTの「敦賀・新大阪間を2023年度当初に着工するものとする」との決議の内容を重く受け止め、関係機関と調整して着工5条件の早期解決を図る。」とされたところであり、沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進め、あらゆる手段を尽くして、北海道新幹線札幌開業(2030年度末)頃までに大阪までの全線整備を図ること。



3. これらを実現するため、収支採算性に優れた北陸新幹線の事業費として上記「北陸新幹線の取扱いについて」等を踏まえ、金沢・敦賀間の建設財源を十分に確保するとともに、敦賀・大阪間への着工を見据え、新幹線への公共事業費の大幅な拡充・重点配分、貸付料財源の最大限の確保(前倒し活用や算定期間の延長等)、既設新幹線譲渡収入や鉄道・運輸機構の特例業務勘定の利益剰余金の活用、必要に応じ財政投融资の活用等により必要な財源を早急に確保され、整備スキームを見直すこと。

4. 地方負担については、沿線の地方自治体に過度の負担が生じないように、より一層のコスト縮減や、国家プロジェクトにふさわしい十分な財政措置を講ずるとともに、各県への停車の配慮など負担に見合う受益の確保を図ること。

5. 北陸新幹線開業に伴う並行在来線は、従来にはない長大な区間であり、地域住民の交通手段であるとともに、国の物流政策や大規模災害時における物資輸送のリスク分散の観点から極めて重要な貨物鉄道の広域ネットワークの一部を担っている。こうした並行在来線の初期投資に係る地方負担に対しては、財政措置が講じられているが、既に経営が分離されている第3セクターも含め、並行在来線が健全に経営できるよう、引き続きこれまでの枠組みの再検証・見直しを行い、JRからの協力・支援のあり方や並行在来線の赤字解消相当分も含まれている貸付料の活用、2031年度以降の貨物調整金制度の見直しへの対応など幅広い観点からの財源確保の方策も含め、法制化の可能性も視野に入れ、新たな仕組みを早急に構築するとともに、老朽化した車両の更新など設備投資に係る支援制度の拡充や予算枠の確保など、支援施策の充実を図ること。また、金沢・敦賀間の工期遅延によって発生する並行在来線の追加経費につ



いては国が責任を持って適切な支援措置を講ずること。

6. 以上、北陸新幹線の整備促進、並行在来線への支援、地方負担の軽減等の諸課題に対応するため、公共事業費の拡充・重点配分、JRからの貸付料の活用など、幅広い観点から十分な財源を確保すること。

(担当：神地)

## 今後の行事予定

### ◆【実施】北陸新幹線建設促進同盟会 2021年度上期中央要請

日時：8月18日(水)

場所：オンラインにて実施

(与党、関係省庁、国会議員)

### ◆【実施】第25回三経連経済懇談会

日時：9月14日(火)～15日(水)

場所：仙台市

対象：会長、副会長、常任理事、理事、監事

### ◆【実施】第8回北陸産学連携懇談会

日時：9月28日(火) 10:00～12:00

場所：福井県立大学 永平寺キャンパス

対象：会員大学学長、会長、副会長、委員長

### ◆【実施】福井県立大学見学会

日時：9月28日(火) 13:00～16:00頃

場所：福井県立大学 永平寺キャンパス

対象：北陸産学連携懇談会出席者、総合対策委員会・新たな価値創出委員会の委員

### ◆【実施】西日本経済協議会第63回総会

日時：10月20日(水) 13:30～17:10

場所：熊本市

対象：全会員

### ◆【延期】政府要望活動

8月19日(木)に予定しておりました政府要望活動は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、延期いたしました。

### ◆【延期】第49回三県知事との懇談会

8月24日(火)に開催を予定しておりました「第49回三県知事との懇談会」は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、開催を延期させていただきます。新たな開催日時については、改めてご案内します。

## お知らせ

### ■北経連「北陸産学技術交流会」の情報交換テーマ募集のご案内

【URL】

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/0ca1adff7ac13e2e51b93177ab96cdeb.pdf>

新たな価値創出委員会では、オープンイノベーションの契機となることを目指し、会員企業・大学の実務者が参加する「北陸産学技術交流会」の情報交換テーマを下記のとおり募集します。

【募集内容】交流会の主査となって開催頂ける方から、情報交換テーマを募集します。

【応募等】URLの情報交換テーマ提案書に記載の上、下記までメールで送付ください。

E-mail：[sakai@hokkeiren.gr.jp](mailto:sakai@hokkeiren.gr.jp)

・募集期間：8月20日(金)まで

・応募件数：先着4件

是非、会員企業の技術開発部門などの関係者、会員大学の産学連携部門および関係する研究者の方へもご周知頂きますようお願い申し上げます。

(担当：坂井)

### ■大学生観光まちづくりコンテスト2021

#### 北陸ステージ・参加チーム募集

北経連では、学生への実践的教育、地域資源の掘り起こし、地域ビジネス振興の実現の観点等から、本コンテストを誘致しています。

【エントリー締切】2021年8月31日(火)

【プラン提出】2021年9月1日～11月5日

【応募先】<https://gaku-machi.jp/>

【問合せ】[info@gaku-machi.jp](mailto:info@gaku-machi.jp)

学生観光まちづくりコンテスト運営協議会事務局  
JTB コミュニケーションデザイン内

【主催】大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会

【特別協力】北陸経済連合会、北陸イメージアップ推進協議会、(株)JTB

【後援】観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省  
日本観光振興協会、日本旅行業協会、北陸広域観光推進協議会、北陸環日本海経済交流促進協議会  
富山県、石川県、福井県(申請中含む)

(担当：高田・日野)

### ■「地域協創ビジネスマッチングワークショップ」への参加企業・研究機関の募集

北陸経済連合会は、日本経済団体連合会(経団連)、北海道経済連合会、東北経済連合会、四国経済連合会との共催により、「地域協創ビジネスマッチングワークショップ」を開催することになりました。



本イベントは、各地域の企業・研究機関等が有する製品・サービス等を経団連会員企業に紹介し、マッチングを図ることで地域経済の活力向上につなげることを目的とし、2018年以降、毎年開催してきた取り組みです。今年度からは新たに東北経済連合会が加わることであり、また新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、昨年同様、オンライン（Zoom形式）にて開催することといたしました。

ワークショップの概要、及び開催概要を下記の通りご案内申し上げますので、ご参加をご検討頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<マッチングワークショップ 開催概要>

【日時／形式】

2021年12月3日（金）14:00～16:30（予定）

《第一部：プレゼンテーション》

- ・参加者全員に対しニーズ・シーズ等を提案
- ・1社／1団体あたり15分程度（質疑応答込み）

《第二部：個別懇談会》

- ・プレゼンテーションを聴き関心を持った企業との個別懇談
- ・各経連毎にミーティングルームを分け30分程度

【テーマ】「一次産業に関連する取り組み・技術」

今回のワークショップでは、「一次産業に関連した取り組みや技術」というテーマに関連したご提案を募集します。例えば、農業分野ではスマート農業、植物工場、昆虫工場、AI・ロボット・センサー・ドローン等の技術の活用、漁業では陸上養殖技術、林業ではドローン技術の活用や間伐材や廃材の資源化など、一次産業関連で連携を希望する事項となります。ご不明な点は事務局にご相談願います。

【応募方法・締切日】

9月30日（木）迄に以下連絡先にメールにて会社・団体名、ご担当者様連絡先、事業・案件名をご連絡願います。

【北経連 問合せ】

北経連事務局 小島・登

電話：076-282-9560

Email：[kojima@hokkeiren.gr.jp](mailto:kojima@hokkeiren.gr.jp)

[nobori@hokkeiren.gr.jp](mailto:nobori@hokkeiren.gr.jp)

【経団連 問合せ】

経団連 産業政策本部 高橋、大橋

電話：03-6741-0624

E-mail：[doshu@keidanren.or.jp](mailto:doshu@keidanren.or.jp)

（担当：小島・登）

## ■「ベトナムスタートアップ's テクノロジーLIVE」

～第11回：AI編～

ジェトロは、日本とASEAN等の企業によるデジタル技術を活用した連携を推進する「DXプラットフォーム」の一環として、ウェビナー「ベトナムスタートアップ's テクノロジーLIVE」を開催します。日本企業との協業に関心のあ

るベトナムのスタートアップ等よりソリューションを紹介し、日越企業間の連携・事業拡大を目指します。

第11回は、「AI（人工知能）」をテーマに、大手金融機関などを中心にAIコールセンターを展開し、プレゼンリーグAを達成した「VBEE」、ダナンに拠点を置き、AIチャットボットキャラクター「Sumi」が人気を集める「HEKATE」、画像解析に強みを持ち、顔認証や病気の判定など幅広い展開を目指す「EyeQ Tech」を紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】2021年8月18日（水）日本時間15:00～16:30

【主催】ジェトロ

【形式】Zoom オンラインセミナー

【定員】200名（予定）

【言語】日本語（日越同時通訳）

【詳細】

[https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2021/210818\\_annai.pdf](https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2021/210818_annai.pdf)

【申込】

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/vha/vst111>

※ご登録者には後日アクセスURL等を配信します。

【申込締切】8月17日（火）正午（日本時間）

※定員を大幅に上回るお申し込み者があった場合、締切日前に受付締め切りの場合があります。

【問合せ】日本貿易振興機構（ジェトロ）ハノイ事務所  
（担当：新居、福井）

TEL：+84-24-3825-0630

Email：[VHA-Innovation@jetro.go.jp](mailto:VHA-Innovation@jetro.go.jp)

（担当：小島）

## ■中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局からのご案内 「ヒトが変われば、会社も変わる；トランスフォーメーションの本質は『ヒト』である」オンラインセミナーの開催

【URL】

<https://www.chubu.meti.go.jp/e21shinsangyo/210907/dxseminar0907.html>

【日時】9月7日（火）13:30～16:30

（※途中参加、退席自由）

【場所】オンライン配信（Microsoft Teams ウェビナー）

【内容】新たなビジネスモデルの確立に向けて、DXの重要性、ヒトの変革の必要性を、事例を交えて紹介いたします。DXの新常識とビジネスモデル確立を伝授する革新的な内容となりますので、是非、ご参加ください。

【対象者】北陸地域の高機能新素材関連企業、ものづくり企業、地域未来牽引企業の経営者および従業員、学生など（定員150名）

【申込】上記URL参照（聴講無料）9月3日申込締切

【主催】(株)ジェック経営コンサルタント



(経済産業省「令和 3 年度地域産業デジタル化支援事業」採択事業者)

【問合せ】(株)ジェック経営コンサルタント(小島・小見)

E-Mail: [dx-hokuriku@jeckc.com](mailto:dx-hokuriku@jeckc.com) TEL : 076-444-0035

(担当 : 坂井)

以上